

Course number		U-LAS02 10013 LJ37					
Course title (and course title in English)		言学Ⅰ The Science of Language Aspect of the Japanese Language I			Instructor's name, job title, and department of affiliation Part-time Lecturer, MAEDA HIROYUKI		
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Arts, Literature and Linguistics(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2026・First semester	
Days and periods		Mon.5		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
日本語の音声音韻について基礎的な知識を習得することを目的とする。言語類型論的観点から日本語の特徴をみるため、日本語以外の言語のデータを扱うことがある。							
[Course objectives]							
日本語の音声音韻の基礎的な事項について、言語類型論をふまえた説明をおこなえること。							
[Course schedule and contents]							
1 日本語の音声音韻に関する素朴な疑問 2 五十音図と音韻体系 3 モーラと音節 4 アクセント体系 5 アクセントとイントネーション 6 言語の(多)線状性 ―掛詞の表記と音声実現からみる― 7 日本語のリズムとフット 8 音声分析ソフトpraatの利用法 9 平曲譜本の墨譜へのアクセントとイントネーションの反映 10 借用語音韻論 11 複合語形成に関する(非)連濁“規則”とアクセント規則 12 言い誤りと言語遊戯の分析 13 発話の緩急とポーズの分析 14 まとめ・確認試験 15 フィードバック							
講義の順序と内容の予定は上の通りであるが、受講生の理解度にあわせて順序・内容を入れ換えたり一部を省略することがある。							
[Course requirements]							
None							
Continue to 言学Ⅰ(2) ↓ ↓ ↓							

言学Ⅰ(2)

[Evaluation methods and policy]

講義期間の最終日におこなう基礎的事項の確認試験（80％）と、それまでに適宜出す課題・毎回の授業への積極的参加度（20％）により評価する。

[Textbooks]

プリントを配付する

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

講義中に次回までの課題を指示した場合は、指示に従い予習してくる事。
それまでの授業で説明した事項の理解を前提に授業をすすめていくので、理解が十分でないと思われる箇所がある場合は、復習をしっかりおこなう事。

[Other information (office hours, etc.)]

非常勤講師のためオフィスアワーはないが、質問等は、授業終了後またはEメール（maedah@cc.nara-edu.ac.jp宛；件名に「言学」の文字列を含めること）にて受け付ける。

[Essential courses]